

令和6年度自己評価結果

社会福祉法人 和愛福祉会
わっかこども園

1. 本園の教育・保育目標

【教育・保育理念】

生きる力の基礎を培い、豊かな心を育てます。

【教育・保育方針】

発達過程に応じた教育・保育

☆一人一人の子どもに寄り添い、その子らしさを大切にします。

☆一人一人の発達や個性に応じて、教育・保育を進めます。

子どもが主体・自己を發揮できる教育・保育

☆自発的、意欲的に関われる環境を構成し、子どもが自ら選ぶことで、子どもが持っている力を伸ばしていきます。

☆生活や遊びの中で、子どもたちが生き生きと活動することにより、学びが生まれ、生きる力を高めていきます。

専門性を有する職員による教育・保育

☆「和顔愛語」の精神で、和やかな心情と愛情豊かな言葉をもって接します。

家庭・地域との連携

☆保護者や地域の方々と一緒に輪になって、共に子育てをしていきます。

☆子どもたちの成長とともに喜び合える、地域に根差したこども園を目指します。

2. 年齢別教育・保育目標

【0歳児】

清潔で安全な環境の中で安心して個々の生活リズムを整えながらゆったりと過ごす。

【1歳児】

自分の思いを十分に受けとめもらい、安定した情緒の中で安心して過ごす。

【2歳児】

保育教諭との安定した関わりの中で、基本的生活習慣を身につけ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る。

【3歳児】

保育教諭や友だちと遊ぶ中で自分の思いを言葉や行動で表現しかかわることを楽しむ。

【4歳児】

自分でできる事に意欲や喜びを持ちながら、身近な人とのかかわりを深めていく。

【5歳児】

友だちと協力したり、考えたりしながら様々なことに挑戦し、知識・能力・自信を獲得していく。

【3～5歳児】

年齢の異なる子ども同士の関わりを通して、自然なかたちで協調性を育む。

3. 評価項目の取り組み状況

評価項目	自己評価	取組み状況
1. 園の基本姿勢について	◎	理念や教育、保育目標は年度ごとに職員会議などで話し合い、共通理解を図っている。保護者には入園のしおり、ホームページ、園だよりで知らせているが、活字だけでは伝わりにくい点もあるため、教育、玄関にデジタルホワイトボードを設置して日々の様子を写真や動画で知らせている。お迎え時に子供と一緒に楽し気に見ていて、好評を得ている。
2. 教育・保育の内容及び目標	◎	職員数の確保も順調で、教育・保育の質を保つことが出来たように思う。 以上児は異年齢児交流に力を入れ、一人ひとりの思いに応じた活動に取り組んだ。
3. 健康及び安全	○	暑い日に少しでも戸外遊びが出来るよう熱中症対策として園庭の遮熱シートの数を増やした。
4. 子育ての支援・地域との連携	◎	地域の行事に職員がブースを出展し地域の方に楽しんでもらった。
5. 園独自の取り組み	◎	保育システムのICT化は浸透し質の向上・効率化に取り組んだ。

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼保連携型認定こども園としての教育・保育の推進及び教職員の資質向上	子育て支援の環境は整えたが、取り組みが中途半端だったので、人事配置やPRも含め考え直す。 6年度も新規・中途を問わず新しい職員が増えた。コミュニケーション不足にならないようICTを駆使するだけでなくミーティングの回数を増やしていくよう取り組んでいく。

◎…十分理解できている（十分出来ている）

○…理解している（出来ている）

▲…ふつう

×…努力が必要（出来ていない）

以上の通り報告します。

令和7年3月31日
幼保連携型認定こども園
わっかこども園